



「上司」に何を望むか？

仕事をする上で、周囲の人間、特に「上司」とのかかわりは、個人のモチベーションへの影響という点で、極めて重要な要素となる。では、部下にとって望ましい「上司像」とはどんなものだろうか？



「上司」に対して何を重視するか尋ねたところ、「能力が高く、人間的に魅力があること」が最も多くあがった。上司に対しては、やはり職位が上である以上、自分よりも能力が高く尊敬できる人物であることを望んでいるのがわかるが、当たり前とも言えるこの結果を、注意深く分析してみる。もし、これと同じ質問を過去（例えば高度成長期）において尋ねたとしたら、同様の結果が表れたらどうか？「上司の能力は高く尊敬できる」というのは当然だから、より重視するのは他の項目である、という答えが返ってはこないだろうか。要するに今の時代、「自分よりも能力が低く、尊敬できない」と部下に思われている上司が非常に多いという仮説が考えられる。別の言い方をすれば、「上司と部下の職位格差（→責任・権限の程度）や処遇格差ほどには、能力格差は存在しない」という事実が浮かび上がってくる。ここに、現代の企業社会における人材マネジメント上の大きなヒントが隠されている。

さらに、この質問における他の項目を見てみる。類似した選択肢として「部下の立場や状況を理解しようとする」と「部下とのコミュニケーションを密にとること」があるが、前者の方が圧倒的に高い支持率を集めている点が興味深い。現実的なコミュニケーション（対話）よりも、実際に部下を理解しようとする姿勢を上司が持っているかどうか、極めて重要だということである。「量より質」と言えなくもないが、問題は「部下を理解しようとする気持ち」がどんな局面で表出するかということだろう。ここに、テクニックとしてのコミュニケーション論の限界があり、本当に部下を思う気持ちを持っているかどうかという「人間的魅力の有無」が問われ始めているという背景がある。

（株）NTTデータ経営研究所

「成長は失敗の先にあり、感動は困難の先にある。」

困難が無い人生は無難な人生

困難が有る人生は有難い人生

困ることは有難い。

時には、失敗そのものを大量生産してみる。

失敗して失敗して

失敗しまくってみる。

何事も調子良くて、うまくいっているときほど、

注意せなあかん。

その反動が必ずあるからや。

そやから、わざと自分で、失敗を起こしてみる。

ほな、その瞬間に謙虚になれる。

しかも、失敗を重ねたあとには、必ず成長がある。

大事なポイントは、

失敗を怖がらずに挑戦することやなくて、

わざと失敗を重ねてみるっちゅうこと。

これが成長の大量生産の元や。

感動も同じや。

最初から順調に成功しても、感動はない。

困難が有るからこそ有難い感動がやってくる。

BY しもやん

◆ ネクタイの色 しっかり選んで印象アップ!

ここぞという時の勝負ネクタイ、どう選んでいますか？
 ネクタイの色や柄で相手に与える印象が違ってきます。



仕事が進むネクタイ選びのコツ、教えます!

ネクタイを結ぶ時、「相手からどう見えているか？」を考えた事はありますか？何気なく付けているネクタイの色ですが、実は人の心理に様々な影響を与えています。

BLUE 信頼感を与え、相手の感情をクールダウンさせたい時:青色系
 ブルーには人の感情を落ち着かせる効果があります。また、論理的に物事を進めようとする冷静で知的な印象を与える色でもある為、相手に信頼感を与えます。

RED パワーや活力を付けたい時:赤色系

赤はとても目立つ色。赤いネクタイは自分の主張を積極的にアピールしたい時に活用するといいでしょう。また、赤は自分の前向きな気持ちをどんどん高めてくれる効果があります。

YELLOW 元気でユーモアある自分を演出したい時:黄色系

黄色は、明るい印象を与えてくれる色です。元氣・天真爛漫・冒険心・ユーモアを意味しますので、人との楽しいコミュニケーションを築きたい時に身につけるといいでしょう。

BROWN 堅実さの演出と堅実な結果を出したい時:茶色系

茶色は土や木の色。人の心を落ち着かせ、堅実な方向に導く色です。ガンガン前に進みたい営業マンよりも、税務・会計担当の人が日々身につけられるといいでしょう。また、会社の方向性を堅実な結果に導きたい慎重さが求められる会議の場に活かせる色でもあります。

お電話
 下さい

1台でも査定に行きます。

ジミー : 080-5575-9645

木村 : 090-6259-5029

斉藤 : 090-8250-1773

